平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	9	ー	2

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	枝幸南部地区国営総合農地開発事業償還負担金					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		農務係
	管理職	職名	課 長	作成者	職名	技 師
		氏名	石 井 弘 道		氏名	辻 栄 浩 二
事業の概要	平成11年度に竣工した枝幸南部地区国営総合農地開発事業の地元負担金の償還。					

全体計画 /期間限定複数年度（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	24,210 千円
	一般財源	千円
	事業費計	24,210 千円

実施方法	■ 直 営	□ 民間委託	□ その他（　　）
第５期 総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度 A

事業の位置付け			
政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
基本施策	1	農業の振興	
単位施策	1	土地基盤の充実	
事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務	
その他計画・根拠等			

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	4,254 千円	4,319 千円	4,292 千円	4,843 千円	4,843 千円
	雄武町負担額（一般財源）	589 千円	523 千円	551 千円	千円	千円
	合計	4,843 千円	4,842 千円	4,843 千円	4,843 千円	4,843 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	枝幸南部地区受益者	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	離農者の償還負担金の滞納	負担金の納付率		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	100%の納入	① 納付額	目標年度	平成23年度
			目 標 値	4,843 千円
			実 績 値	4,843 千円
			達 成 度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	償還負担金の完納	②	目標年度	
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度	%

内 容（どのような手段で何を行ったか）	
償還負担金請求事務	納付書の発行、滞納者への納入督促

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	枝幸南部地区国営総合農地開発事業で整備した農地造成や農業用用排水に係る負担金を償還するものであり、償還表に基づいて受益者が負担金を償還するために必ず行う必要がある。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

概ね有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	受益者から負担金を徴収し、オホーツク総合振興局に納付することができたが、一部受益者に未納があったことから、完納に向けさらなる取り組みが必要である。 一方で、一部受益者から滞納していた負担金の納付があり、納入督促の効果がみられた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	納付書の発付及び督促状の送付であり、その他の事業費は発生していないので、これ以上のコスト削減はできない。

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 ■受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	関係受益者全てに負担金の納入を求めているところであり、一部の受益者に滞納が見られるが、概ね公平であると判断する。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
本年度の償還負担金は、計画のとおり全額納付することができたが、過去に発生した滞納分の全額償還には至っていない。	同左	

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持	**継続／現状維持**	
本事業は地元負担金の償還であり、必要な事業であるが、滞納分については一般財源により納付していることから、完納に向けた督促方法などの検討が必要である。	同左	

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）